

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス amiamie			公表日		令和7年 2月 17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	児童がいる各部屋に職員を配置し、目を離さないようにしています。また一ヶ所に集中することなくスペースが保てるようにしています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	0	ご利用人数や状況に応じて職員の数配置をしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	入口にスロープを設け、車椅子利用もスムーズに移動が出来るようにしています。また、トイレは車椅子の児童の介助のしやすいスペースに改善いたしました。	・庭で遊ぶなどの活動は出来るが、大きな石や段差があり、十分に動き回れない。 ・庭など外で伸び伸びと安全に遊べる空間がない。石などの危険物が多い。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	清潔で心地良く過ごせるよう、清掃等に気を付けております。子ども達に怪我や危険がないよう、可能な場所には鍵をつけるなど対応をしています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	クールダウンが必要な児童に対応が出来るよう、相談室を利用して、気持ちを落ち着かせることの出来るようにしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0		今後も継続して、職員会議等で話し合い、全ての職員が参画できるように努めます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者様のご意見・ご要望を把握し、業務改善につなげるよう努めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員会議などで、各職員の意見や要望を伝え、業務改善につなげられるよう努めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・研修に積極的に参加出来る機会を確保しています。 ・職員会議や職員間のやりとりの中で資質向上に努めております。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	職員会議の中で、各児童の抱えている課題や、子どもと保護者のニーズなどを話し合い、それに基づき計画書の作成を行っております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	職員会議の中で、各児童の抱えている課題や、子どもと保護者のニーズなどを話し合い、それに基づき計画書の作成を行い、支援に反映しております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	職員会議や日々の打ち合わせの中で、各児童の抱えている課題などを共有し、計画に沿った支援が行えるよう努めています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	季節の製作や、外出、クッキングなど、子どもたちが楽しみながら活動が出来るよう工夫をしながら支援をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	児童それぞれの特性に合った活動を組み合わせ、個々のペースで取り組める支援が出来るよう努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	支援終了後、送迎等の関係で、打ち合わせが出来ないため、職員間のメールや、通達ノート、または翌日の開始前に打ち合わせを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	些細なことでも活動表に記録し、口頭でも職員間で伝達をし、支援の検証・改善の繋がるよう努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	必要な児童には相互で情報共有を行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	相談員を通して情報の提供をしております。今後も依頼があれば情報提供をするなどの対応をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	積極的に研修に参加するようにしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		今後、検討していきたいと考えております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4		機会があれば参加したいと考えております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡ノートや送迎時に保護者様にお子さまの状況等をお伝えし、共通理解が持てるよう努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	保護者様の申し出があった時に対応していますが、施設側からも保護者様との懇談等において支援を呼びかけしています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	定期的に面談の機会を設けています。また、連絡ノートや送迎時等、保護者様よりご相談があればその都度必要な対応をしており、今後も継続していきます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	9		今後、検討していきたいと考えております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情があった場合には、迅速かつ適切に対応するよう、今後も努めます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	連絡ノートやメールにて行事や連絡事項をお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	今後も個人情報の取り扱いには十分注意をしていきます。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	今後も、お子さま、保護者様との意思の疎通・情報伝達のための配慮に努めます。	それぞれの児童を理解し、その子に合った方法で意思の疎通が図れるよう、更に声かけや見守り、サポートをしていきます。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9		今後、検討していきたいと考えております。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	ホームページにてマニュアルを公表しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	職員間での話し合いや、定期的な非難訓練を行い、災害時の対応をしています。	今後も定期的に訓練を行い、非常災害時に備えます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット・事故報告書を作成し、職員間で共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0		